

令和元年度 第3回袖ヶ浦市文化財審議会

- 開催日時 令和元年11月28日(木)
午後1時30分～午後3時15分
- 開催場所 袖ヶ浦市郷土博物館研修室

3 出席委員

会 長	山田 常雄	委 員	梶原 正方
副会長	成田 篤彦	委 員	高橋 克
委 員	鈴木 仲秋	委 員	笹生 衛

4 出席職員

教育長	御園 朋夫	副主査	大河原 務
生涯学習課長	小阪 潤一郎	学芸員	鎌田 望里
副課長	稲葉 理恵	学芸員	助川 諒
主 査	田中 大介		

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

6 報告

- (1) 令和元年度文化財保護事業について

7 議題

- (1) 市指定文化財候補について
- (2) 指定文化財の台風15号・19号による被害状況について
- (3) 登録有形文化財候補について
- (4) その他

8 議事等

山田会長：議題（1）指定文化財候補について事務局説明をお願いします。

事務局：前回提示しました、打越岱遺跡出土土偶の指定について、同時期の出土品について一括指定にしてはどうかとのお話がありましたが、次回第4回文化財審議会において、同時期出土品の検討について、次年度第1回審議会において調書の作成、第2回以降で答申と進め

ていきたいと考えています。また、本日お配りしました資料の文書をもとに委員の皆様のご意見をいただきながら調書作成を行っていききたいと思いますので、よろしくをお願いします。

笹生委員：土器は併せて指定した方がよい。また、遺跡自体の性格についての記載もあったほうが良い。周辺に同時期の遺跡や包含層があるかなどの記載が必要である。

山田会長：では、議題（１）については追記して調書作成し、次回審議会で出土品の検討等について行うということをお願いします。

続いて議題（２）指定文化財の台風１５号・１９号による被害状況について事務局から説明をお願いします。

事務局：資料により説明

山田会長：飽富神社東照宮はこのままの状態が良いのか。シートはかけないか

事務局：修理を行う予定の事業者さんが見に来ているのでこのままにしている。下に落ちている部材については、風雨に当たらないようにした。

山田会長：銅板屋根の下の状況は？

事務局：銅板を取り外してみないと、下の状況はよくわからない。

山田会長：成田委員、樹木についてはいかがでしょうか。

成田委員：原則、自然に復活させたらよい。元の状態に戻るまでの期間は状況によって異なる。

笹生委員：今後大きな台風が来た時の事を考えると、被害の把握をするシステムを構築したほうがよい。管理者・所有者との連絡についても考えてはいかがか。

災害があったとき確認をするには、職員が中に入って確認することを事前に了解を得ておくのも必要ではないか。

所有者と話がついているかついていないかで随分違う。

山田会長：鍵を開けなければ確認できない仏像等のこともある。

指定区分について、それぞれの対応状況を考える必要がある。

説明板も今の形状では、風をうけてしまう。

笹生委員：風を受けても人力で元に戻すことが可能な形状を考えてもよい。

梶原委員：飽富神社東照宮の銅板は一度、全部ははがさないといけない。

水が入ってしまうと下もだめになってしまう。彫刻にも傷はなさそうですが、場合によっては当たっている部分もあるかもしれない。

今後、銅板は修復するとき錆びにくい鋼板などもあるので、使用してもいいのではないか。

高橋委員：文化財的にどうかという話もあるが、わかっているそのような素材を使用するのはあってもいいのではないか。

鈴木委員：現状はどのように対処されていますか？

東照宮にはなにかかぶせていないのか

事務局：かぶせていない。

鈴木委員：下がいたむので、なにか処置をしたほうが良い。

屋根の銅板についても、修復の素材については長持ちするようなものを使うなど検討したほうがよい。

事務局：改めて、今回の意見を修理事業者に伝え対応することとしたい。

次の審議会で、今後の対応についてご報告したい。

鈴木委員：東照宮の屋根は、当初から銅板だったのか？

笹生委員：茅ではないか。

鈴木委員：いづれにしても雨が入らないように処置をしたほうがよい。

(4) その他は事務局何かありますか。

事務局：山野貝塚の小学生向けパンフレットの案を作成したので、ご意見を
お願いしたい。

高橋委員：勝手に掘ってはいけないと記載したほうが良い。

山田会長：丸番号が文字の後ろに来ているが、わかりづらい。

この番号の意味は？

事務局：山野貝塚が重要な遺跡である要素4点を記載している。

笹生委員：交流の中心の一つというので、小学生は理解できるか

多くの人々が集まる場などとしてはどうか

漢字表現が難しくないか。単語を開いた表現に変えたほうがいい。

小学生に何を感じてもらいたいのか、あまり情報を盛り込んでも受け
付けられないのではないか。

山田会長：年表の縄文時代は統一した色で示してもいいのでは。該当する時期
を濃くして他は薄くするとか。

梶原委員：時代区分についてはこれで良いか

笹生委員：小学校の教科書にあわせたほうがよい。

山田会長：議事は終了いたします。

事務局：次回の審議会日程ですが2月6日（木）13：30に予定をしてお
ります。よろしく願いいたします。

原案どおり了承された。

午後3時15分終了